

各位

会社名 タマホーム株式会社
住所 東京都港区高輪三丁目22番9号
代表者名 代表取締役社長 玉木 伸弥
(コード番号: 1419)
問い合わせ先 取締役戦略本部長兼経理部長 西堀 祐介
TEL. 03-6408-1200

**2025年5月期第1四半期 決算説明会（テレフォンカンファレンス）に関する
質疑応答概要の公開について**

日頃より、ご支援賜りまして誠にありがとうございます。

当社は本日、2025年5月期第1四半期 決算説明会をテレフォンカンファレンス形式により開催いたしました。

ご出席いただきました皆様から同決算に関するご質問を賜り、ご回答を行っております。

以下、質疑応答概要につきましてお知らせいたします。

【質疑応答概要】

Q1.

9月度受注速報の注文住宅事業が136%と好調でしたが、回復要因と持続性についてどのように考えているか教えてください。

また、来場者数が増えている背景について教えてください。

A1.

来場者数が好調に推移している事が要因の1つと考えております。

また、来場者数増の背景に関しましては、ご来場促進のため、ご来場特典を進呈する Web 売出を全日を通して実施しており、多くのお客様がご来場しやすい体制をとらせていただいております。

Q2.

今後の値上げ方針に関して、6月も値上げをされていたと思いますが、その後の顧客の反応を教えてください。

A2.

今後の値上げ方針に関しまして、現状、世の中的には値上げ傾向にございますが、当社といたしましては適正な利益を確保しつつ、値上げに対応していく所存でございます。

安易な値上げではなく、適正な価格でご提案を行っていきたいと考えております。

Q3.

足許のコスト上昇の度合いはどのような状況でしょうか。

また、上昇分のコストは販売価格へ転嫁できているのでしょうか。

A3.

各メーカーからの値上げ要請は一時期ほどではございませんが、まだ継続してございます。

市場の価格と需要を的確に把握し、新規メーカー等の開拓を図り、今後も価格交渉を行いながら適正な対応を図ってまいりたいと考えております。

また、販売価格に関しましては、適宜、価格転嫁を行っております。

Q4.

不動産事業の営業利益減少については、戸建分譲の値引き販売や粗利率悪化ではなく、引渡棟数減少によるものと理解してよろしいでしょうか。

また、オフィス区分販売等、戸建分譲以外での要因はありますでしょうか。

A4.

戸建分譲の引渡棟数減少によるものであり、戸建分譲やオフィス区分販売等の粗利率が著しく低下しているものではございません。

また、不動産事業の粗利率低下の影響は今のところございませんが、販売価格等の見直しにより、引き続き粗利率の向上に努めてまいります。

Q5.

受注に関して、9月の受注は良かったが、クオカード最大3万円進呈の効果はどのように見ているのでしょうか。

また、成約率に関しては若干悪い気がするのですが、購入希望のお客が多くご来場しているのでしょうか。

A5.

受注・来場の状況ですが、来場者数は大変好調に推移しており、前年同期比で伸びております。

集客に特化した施策にて来場者数が増加している状況でございます。来場者数の増加に伴いまして、受注も回復傾向にございます。

成約率に関しましては、多くのご来場をいただき、成約には若干のタイムラグが発生すると考えております。すぐご商談に至るお客様とこれから検討するお客様の二極化があり、後者のお客様に対して、追客・商談をしっかりと行う事で、成約率を上げてまいります。

Q6.

商品構成に関して、以前は大安心の家が多かったと思いますが、現在の商品構成を教えてください。

A6.

商品構成に関しましては、当社の看板商品である大安心の家に追加いたしまして、地域限定商品・チラシに掲載がございますシフクノいえ等、幅広い価格帯でお客様のニーズにお応えできる商品展開をしております。

Q7.

戸建分譲事業における、人的配分等の今後の資源投入についてどのようにお考えでしょうか。

A7.

市場は縮小傾向にあるものの、注文住宅事業においてはシェア拡大ができると考えており、その中で今後も適正な人員配置を検討してまいります。

以 上